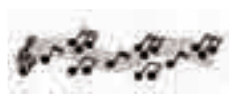


HAT CROSS

神戸赤十字病院広報誌
2005 Vol.7



セタコンサート'05

ジャズオーケストラがやってきた



7月7日、広報委員会主催の第2回セタコンサートが神戸赤十字病院1階玄関ロビーにて行われました。たくさんの方々にお集まりいただき、立ち見の大盛況となりました。今回出演して下さったのは、おなじみ『生ちゆう』（放射線技師有志）の皆さんと、今回初登場の神戸市立原田中学校ブラスバンド部（KOBEBLUE JAZZ ORCHESTRA）の皆さんでした。お忙しい中、出演して下さった皆さん、そしてお集まりいただいた皆さん、ありがとうございます。

『生ちゆう』さんのハンドベルの涼しげな音色で「たなばたさま」や「さらさら星」が演奏され、幕を開けた本コンサート。続いては、「涙そうそう」と「島人ぬ宝」が演奏され、沖繩ムードたっぷり。おそろいのTシャツで出演して下さいました。

そして、原田中学の皆さんの登場。中学生の元気なジャズが院内に響き渡り、梅雨空をふき飛ばす爽快な演奏を堪能しました。顧問の繪野 有司先生の曲紹介を交えながら懐かしい名曲から、ロック調の曲までさまざまなお曲が演奏されました。

今年は愛知万博にも出演し、大きな舞台を経験してきているとのこと。

ソロも堂々としたもので、のびのびとスイングしている彼らの音を聴いて、思わず体が動いてしまった人も多かったのではないのでしょうか。出演して下さった中学生の皆さんも「大変やったけど、いい演奏ができた。」「響いて良かった。」と満足した様子で出演した感想を話してくれました。日頃は自分達が楽しんで演奏することをモットーに練習されているようですが、それが「聴くだけで元気になる音」の秘訣のようですね。患者様からも「明日からの治療に勇気が出た。」との貴重なお声を頂戴しました。

神戸はジャズの街ですから、これをきっかけに聴いてみるもよし、ライブに足を運んでみるもよし、参考になさって下さい。

広報委員会では、コンサートの出演者を募集しております。



JAZZ 演奏曲名

- ①Havana Holdout
(ハヴァナ・ホールド・アウト)
- ②Little Brown Jug(茶色の小瓶)
- ③Tequila(テキィーラ)
- ④September(セプテンバー)
- ⑤Critical Mass
(クリティカル・マス)
- ⑥Workin'
(ワーキン「線路は続くよどこまでも」)



辻泌尿器科部長

「患者様に優しい 医療を提供します」

泌尿器科部長 辻 功

泌 尿 器 科

平成17年4月、井上部長の退職に伴い、辻功が着任いたしました。
地域の基幹病院の診療科の一つとして地域医療に積極的に取り組むとともに、先進の高度医療の提供をめざしております。

★特色

診断においては、迅速を心掛け、必要と考えられる検査は可能な限りその日のうちに施行し、通院に関わる負担を出来るだけ少なくするよう努力しております。

また、最新の超音波診断装置や内視鏡システムをそなえ（左写真参照）、より低侵襲で苦痛の少ない検査を目指しています。

治療面では、治療効果に加え、その安全性、治療後のQOL（生活の質）を十分に検討し決定します。

本年度より、従来の手術に比べてより低侵襲な腹腔鏡手術も開始し、それにより入院・安静期間が短縮され、傷や痛みが軽減しました。今後もQOLをより重視した治療法の推進をはかっていきたいと考えております。



最新型超音波診断装置



以前はステンレス製の硬い膀胱鏡(上)でしたが、柔らかく、より細い電子スコープ(下)を導入し患者様の苦痛の軽減をはかりました。

★対象疾患

対象となる疾患は腎、尿管、膀胱、前立腺等の尿路悪性腫瘍。前立腺肥大症、脳・脊髄疾患等による神経因性膀胱。尿路感染症。尿路結石症。その他、成人・小児尿路生殖器疾患等です。

具体的には、表のような症状がおありの方は恥ずかしがらず、ためらわず、ご来院下さい。性病のイメージが強いため敷居が高いように思われるかもしれませんが、老人から子供、男性だけでなく女性の患者様も3割近く、日によつては5割ほど来院されておられます。



辻 功 (つじ たくみ)

平成2年神戸大学卒
日本泌尿器科学会専門医
日本泌尿器科学会指導医
医学博士

★担当医

- ◆ オシッコに血が混ざる
- ◆ オシッコに潜血反応を指摘された
- ◆ オシッコが濁る
- ◆ オシッコが出にくい
- ◆ オシッコが近い、残った感じがする
- ◆ オシッコがもれる
- ◆ オシッコをする時、痛みを感じる
- ◆ 横腹が急に痛む
- ◆ 睾丸が腫れてきた
- ◆ 精液に血が混ざる
- ◆ 子供ができない
- ◆ 勃起の調子がよくない
- ◆ こどものオチンチン、睾丸がおかしい
- ◆ 包茎かも？
- ◆ PSA（前立腺特異抗原）値が高い

★こんな症状のときは、泌尿器科へ

★スタッフ



わたしたちがお待ちしております

Warm heart, but Cool head
「思いやりの熱い気持ちと冷静な
判断力の両立」がモットーです



『治験って何？ ～お薬の誕生～』

薬剤部長 松林 照久

最近、新聞や折り込みで、「○○○の治験にご協力下さい」といった広告を見られた方がおられると思います。『治験って何？』について、3回に渡って簡単にお話したいと思えます。

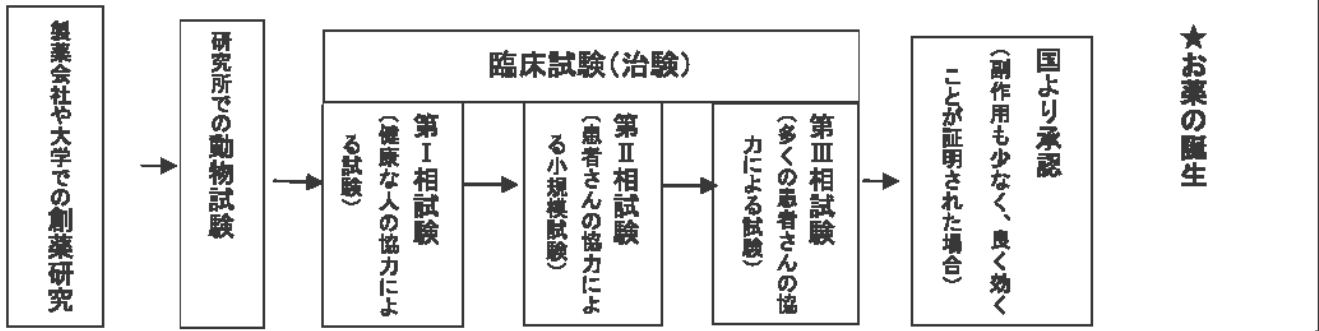
先ず第1回目は、「お薬の誕生」についてのお話です。

大学や製薬会社などの研究によって、薬の前段階である『薬の候補』が発見あるいは開発されますと、まず、動物実験で有効性と安全性が検討されます。次いで、少数数の健康な人の自主的な協力によって人における危険性や安全性が確かめられます。これを第I相試験といえます。

その後、協力していただける少数の患者様を対象に、本当に病気に効くのか、どの程度の量が適当か、どのような効き方をするのか、副作用はどの程度なのかを試験(第II相試験)します。さらに、より多くの協力願える患者様に使用し、有効性、安全性を最終的に確認し、適応範囲や標準的な使い方を確定する試験(第III相試験)が行われます。

試験の結果が、現在あるお薬よりも一層良く効き、より安全であることが立証されて、はじめて国(厚生労働省)から承認を受け、『お薬』が誕生します。お薬誕生のために、人に対する臨床試験のことを、特に治験といひ、3〜7年を要します。開発からお薬の誕生までは約10〜18年かかるといわれています。

このように、『お薬』は、治験にご協力頂いた、多くの先人達からの贈り物といえるでしょう。



★お薬の誕生

栄養課 だより

⑤

栄養課長 福井俊弘



日本人は世界で一番沢山の魚を食べています。アメリカの9倍です。

魚料理には、さしみ、焼魚、煮魚、干物、すし、かまぼこなどの練り製品があります。

野菜が緑黄色野菜、淡色野菜に分けられるように、背の青い魚(サバ、あじ、いわし)と白身魚(鯛、ひらめ、さわら)に分ける事ができます。

魚にも肉にも、タンパク質が多く含まれています。とくに、背の青い魚に多く含まれる『不飽和脂肪酸』は、コレステロールが血液の中で固まらないようにする働きがあつて生活習慣病の予防に役立っています。それに、ビタミンA、B1、B2も含まれています。

魚にも野菜と同じように旬があり、卵を産む前は脂肪がのつてさらにおいしくなります。

季節の代表的魚

- 春: キス、鱈(サワラ)、鰯(ニシン)
- 夏: 鮎(アユ)、イサキ、鰻(うなぎ)
- 秋: 鮭(さけ)、鯖(サバ)、秋刀魚(サンマ)
- 冬: 鰯(アノコウ)、鯖(マグロ)、はまち

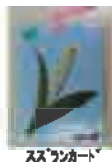
魚介類別効能

- 鮭: 高血圧、風邪、骨軟化症
- 鯖: 動脈硬化、視力低下、口内炎、口角炎、高血圧、肝臓病、脳卒中、骨軟化症
- 秋刀魚: 動脈硬化、視力低下、口内炎、口角炎、高血圧、脳卒中、風邪、骨軟化症

全日空よりしあわせの贈り物!

梅雨の中休みとなった6月14日、全日空から北海道産のスズランの寄贈がありました。全日空としては50回目の節目にあたるそうです。客室乗務員の恒川泉様来院され、坂田副院長、看護師代表者、患者さま代表者それぞれにスズランの鉢植えを、他の患者さまには、全日空社員手作りの押し花のしおりなどをいただきました。

病棟では、患者さま一人ひとりに、『しあわせを持ってきましたので、早く良くなって下さい。』と声をかけながら、押し花のしおりを手渡されると、嬉しさのあまり目を潤まされる女性患者さまや、押し花のしおりより綺麗な恒川さんとお会いできたことが嬉しいと言われる男性患者さまがいて、皆さんそれぞれにスズランの花言葉でもある、“幸福の訪れ”があつたように思います。



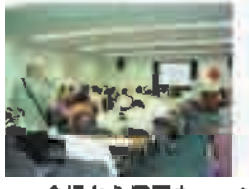
第7回 HAT 健康セミナー報告 『眼の病気』

去る6月1日、眼の病気の白内障、緑内障については52名の参加者があり、皆様の眼の病気に対する関心の高さを感じました。

白内障、緑内障について、点眼治療や手術治療(実際の手術の映像を用いて)について説明がありました。いずれの場合も患者さま自身の生活に応じた対応が必要で、安易に手術治療を選択しない方がいい場合もあります。

眼科には、独特の病名が多くその中でも、よく耳にする白内障、緑内障についてきちんと認識するのは重要なことで、今後、高齢化社会の訪れとともにますます眼科疾患に対する理解の重要性が増すと思われます。

そのため、かかりつけの眼科医とよく相談されることをお勧め致します。



会場から質問も

トピックス&ニュース

災害訓練報告

5月28日(土)に当院と兵庫県災害医療センターにおいて、赤十字と兵庫県との連携による合同施設利用訓練が行われました。阪神・淡路大震災から10年目を迎え、大地震の発生を想定し、被災者の当院及び兵庫県災害医療センターでの診療から、診療後被災者を各医療施設へ搬送するまでの訓練内容でした。



IF 待合で仮設ベッド設営

最後は、井戸敏三兵庫県知事の挨拶で合同施設利用訓練は締めくくられました。

第23回HATメデイカルセミナー

『医療従事者のためのコミュニケーション・マネジメント』に参加して

看護師 島ノ上真樹代

7月28日(木)講師の丹羽真理先生によるセミナーが行われ、院内外から114名が参加しました。

コミュニケーションは、あらゆる看護行為の基本であり、その重要性を認識しながら働いている看護師は多いと思います。しかし、日常当たり前にコミュニケーションを行っているため、看護の実践で求められるレベルまで到達していません。そのために、看護業務はこなせているのが現状です。今回の講演を聞き、患者さまが医療従事者に求めるコミュニケーションとは何なのか?を考え接していく事で、患者さまと本当の信頼関係を築いていけるのだと知りました。看護師として「心あるケア」を提供していくためには、コミュニケーション技術を身に付ける事が大切なのだと感じさせられました。

基本方針

1. 患者さまを中心として、人権と意思を尊重し、安心と満足が得られる医療を提供いたします。
2. 地域医療機関との連携を保ち、患者さまに一貫した医療を提供いたします。
3. 救急医療、災害救護活動、国際救援活動を行います。
4. 内外の医療従事者の育成に努めます。
5. わたしたちは、日々研鑽・研鑽し、明るく活力のある職場づくりに努めます。



参加者同志でコミュニケーショントレーニング

救命活動表彰される

国交相の感謝状

7月31日、尼崎総合文化センターで、尼崎JR脱線事故で救助・救命活動に当たった現場周辺の企業など七十五団体と一人一人に対する国土交通大臣の感謝状贈呈式が開かれました。

当院からは坂田龍彦副院長が代表で参列し、感謝状と記念品が授与されました。



**** 災害医療の取り組み ****

国が勧める日本DMAT (Disaster Medical Assistance Team) 構想があります。これは災害が起こった場合、急性期に活動できる機動性を持った医療チームを育成して、災害現場で人命救助にあたるもので、2005年3月に、第1回日本DMAT隊員養成研修が行われました。兵庫県の基幹災害医療センターである当院も研修参加を申請し年内には参加できる予定です。

また、重症外傷では受傷から決定的治療(手術など)を開始するまでの時間が1時間以内かどうかで生死が別れるといわれております。災害救護においては、災害現場・救護所で外傷の適正な評価と適切な初期対応を速やかに実行し搬送することが重要です。7月にはJPTECプロバイダー養成コース(病院搬入前における外傷の観察、評価、処置の研修)に当院より医師3名・看護師8名が受講し、実技・筆記試験の後に全員が『プロバイダー』として認証されました。

さらに、院内では心肺停止患者発生時に速やかに適切な初期対応ができるように、救急対策委員会のもとに『チームBLS (Basic Life Support)』を結成して、月に2回、勤務終了後の夕方、全職員を対象に救急蘇生訓練を実施しております。